

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能 知識・技能の不十分な生徒（達成率が50%未満）は、12名(約12%)であった。 授業ではわかったつもりになっていても反復練習をしないために、試験範囲が広いと、知識が定着できない生徒がいる。また、図やグラフから読み取ったことを文章化することが苦手な生徒がいる。</p> <p>2 思考・判断・表現 思考・判断・表現が不十分な生徒（達成率が50%未満）は、32名(約33%)であった。期末考査の問題が比較的高度であったことも一因であると思われるが、歴史的な事象や地理の環境問題等について自分の考えを文章で説明することが苦手な生徒が多い。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に学習に取り組む態度が不十分な生徒(達成率 50%未満)は4名(約4%)であり、大多数の生徒が非常に熱心に取り組んでいる状況と言える。</p>	<p>1 知識・技能 反復して書いて覚える作業を取り入れるとともに、授業内でワークシート等を使い、基本用語や基礎知識の定着を図る。 また、<u>図やグラフから読み取ったことがらを文章化する課題を意識的に授業内で増やすようにする。</u></p> <p>2 思考・判断・表現 複数の事象の関連性を掴ませるとともに、ワークシートに<u>短文でまとめる活動や自分の考えを記入させる機会をさらに多く設ける。</u>また<u>時事問題を意識的に授業内で取り上げたりしながら、それらに対して自分の考えを言葉で表現したり、互いに議論する機会を増やしていく。</u>また、<u>短いレポートをまとめる作業などを増やす。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 電子黒板を常用化し、NHKの動画やニュース映像を効果的に視聴させるなどして、視覚に訴える活動をより多く取り入れ、興味関心を高める。また、新聞記事や時事的話題を多く取り入れ社会的関心を高める。さらにSDGsなどの社会的な問題に対する<u>課題意識をもたせる発問を多くする。</u> 提出物課題は締切期日を早めに明示し、全員が提出できるように丁寧な指導を心がける。</p>